

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【公開番号】特開2012-179464(P2012-179464A)

【公開日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2012-144538(P2012-144538)

【国際特許分類】

A 6 2 C 35/62 (2006.01)

A 6 2 C 35/68 (2006.01)

【F I】

A 6 2 C 35/62

A 6 2 C 35/68

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予作動弁と、

該予作動弁の二次側に設けられ、スプリンクラヘッドが接続された二次側配管と、

該二次側配管と真空配管を介して接続され、前記二次側配管内を負圧にする真空ポンプと、

前記予作動弁の一次側に設けられ、基端側に給水手段が接続される一次側配管と、

を備えたスプリンクラ消火設備において、

前記真空配管に流水遮断弁を設け、

該流水遮断弁は、

前記予作動弁の開放に連動して閉止するように制御されることを特徴とするスプリンクラ消火設備。

【請求項2】

前記流水遮断弁は、前記予作動弁と電気的に連動して動作するものであることを特徴とする請求項1に記載のスプリンクラ消火設備。

【請求項3】

前記流水遮断弁は、

前記二次側配管側となる端部に形成された第一の穴部、及び、前記真空ポンプ側となる端部に前記第一の穴部と連通するよう且つ前記第一の穴部よりも小さな直径で形成された第二の穴部を有する筐体と、

前記筐体の前記第一の穴部に設けられたボールと、

前記真空ポンプの吸引力よりも大きな付勢力で前記ボールを前記二次側配管側へ付勢するバネと、

を備え、

通常の監視状態においては前記第一の穴部と前記第二の穴部との間が連通し、予作動弁が解放して前記ボールに前記二次側配管側から所定の水圧がかかると、前記第一の穴部と前記第二の穴部との間を閉止することを特徴とする請求項1に記載のスプリンクラ消火設備。

【請求項 4】

火災が発生して前記予作動弁が開放したときに前記二次側配管に流入する水の流量を一定の流量に制限する流量制御手段を、前記二次側配管の前記予作動弁近傍に設けたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか一項に記載のスプリンクラ消火設備。